

丹波篠山市立篠山中学校 学校だより

明るく楽しく厳しく

第3号

令和2年6月1日

丹波篠山市立篠山中学校

丹波篠山市東沢田224

TEL079-552-1155



[学校教育目標] 基礎力・思考力・実践力をもち、支え合い躍動して学び続ける生徒の育成

[めざす学校像] 未来に向けて学びを創る学校 生徒・教師の対話がこだまする学校

☑わやかな学舎 ☑さえあう仲間 ☑くどうする授業 ☑ごころあられる集団

※スマートフォン、タブレットでQRコードをかざすと、篠山中学校ホームページにアクセスします。

危機対応の時に大切な3つの心

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3ヶ月にも及んだ休業期間が終わり、学校が再開しました。この期間、多くの行動が制限され、命や健康への安心感、仲間が集い学び合う学校など、あたりまえと考えていたもののありがたみを改めて感じます。

生徒の思い（人権通信生徒作文より抜粋）

学校が恋しいです

今までは毎日楽しい日々が送れていました。でも「コロナ」という病気が流行していき、毎日大変な日々が続いています。毎日の生活が乱れていっている人もいるでしょう。でも、こんな日々が続いていて、私は学校が恋しくなり、友達に早く会いたい、部活がしたいという今までになかった感情が出てきました。

改めて学校の大切さを実感

休みの期間、改めて学校は大切だと思いました。私はサボってしまうことが多いので宿題が大変です。友達に会えないことが何よりも悲しいです。

普段の当たり前のありがたさ

コロナウイルスの感染で、学校や部活動などの普段の生活ができないのがイライラします。初めの方は休みができてうれしかったけど、だんだん休みが長くなり、イライラすることが多くなりました。何よりイライラしたのが、友だちと会えないことでした。普段は学校で当たり前のように話していたのが、今では声もなかなか聞くことができず、早くコロナウイルスがなくならないかな～と思うばかりです。僕は学校に行けるのが当たり前のようになっていましたが、コロナウイルス流行の今学校に行けるありがたみが分かった気がします。

中学生最後の1年、普通に楽しみたかった

友達に会いたい。総体があるかわからない。ひま。受験が心配。体育祭、文化祭をしたいけど、できるかわからない。中学生最後の1年、普通に楽しみたかった。学校に行きたい。

今から10年前の2010年8月5日、チリ北部のサンホセ鉱山で落盤事故があり地下700mに作業員33名が取り残されました。気温30℃以上、湿度80%以上の環境下、救助がきてくれるかどうかもわからない中で、2日に1回、マグロの缶詰を分け合い、生き延びました。8月22日、地下捜索のため掘削したドリルの先端からメッセージが発見され、33名の生存が確認されました。生存を確認したチリ政府は食料などを地下に送るとともに救出用縦穴を掘削し、10月14日全員が救出されました。33名は取り乱すことなく団結し、2ヶ月を超える地下生活に耐えました。

後に、全員が元気に救出された理由は三つの心があったからと言われています。一つ目は「あきらめない心」チリ鉱山での生存者は家族や恋人のために生きる意味を見だし、あきらめなかった。生きようとする強い意志があったということです。二つ目は、「優しい心」です。鉱山経営会社の社員ではない作業員もあり、最初は孤立しましたが、リーダーの働きかけで、仲良くなり団結できたということです。三つ目は、「工夫（努力）する心」です。閉じ込められている最中も作業員は居住空間を広げたり、土砂を運び出したりしました。居住空間を広くしたことでトイレを別につくったことで、病気の感染を

防ぎ、長期間の生活に耐えることができました。

学校が再開し、仲間と学ぶことができるようになりましたが、第2波、第3波を押さえ込むため、まだまだ生活の中で制限しなくてはならないこともあります。また、学習の遅れへのあせり、様々な行事がなくなっていく喪失感など様々な不安があると思います。しかし、なくしたものを嘆くのではなく、仲間と支え合い、創意工夫の中で新たな学習や生活、行事の持ち方を見つけていくこと、長いスパンでの目標をもつことが大切だと思います。

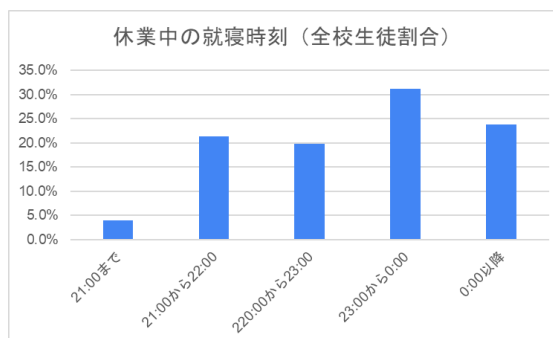
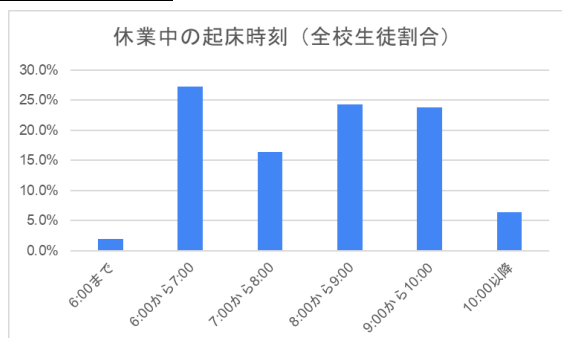
学校では、コロナウイルス拡大防止に伴う休校により削減された授業時数を確保するため、授業や学校行事の効率化を進めます。授業においては、①ハッキリ予習で目標・見通し、②シッカリ書いて基礎基本、③ミッチリ意見交流で思考、④バッチリ振り返り実践の「篠山中学校授業スタンダード」を全教科で実施します。また、学校行事においては、授業の集大成として主体的に創造できる場、安全安心に取り組める場の視点で行事を工夫していきます。

社会全体で、新しい生活様式が求められています。あきらめない心、やさしい心、工夫する心を大切に新たな学校生活を先生と生徒と一緒に考えていきましょう。

学校再開 感染リスク低減の取組

感染症対策のポイントは「感染源を絶つこと」「感染経路を絶つこと」「抵抗力を高めること」となっています。学校では、再開にあたって、①毎朝の検温確認、健康観察、②手洗いの徹底（登校前、給食前、共用物を使う授業の前後、部活動等）、③マスク着用（せきエチケット）、④清掃及び消毒、⑤2方向からの換気、⑥対面・近距離での会話を避ける生活面での指導や授業・行事の工夫を行います。

家庭でも、登校前の健康観察と予防措置にご協力願います。体調が悪かったり微熱があったりする場合は、登校を控えてください。また、こまめな手洗い、ハンカチ・マスクの持参についてご指導ください。なお、長期にわたる休業で生活リズムが不規則になっています。十分な睡眠・適度な運動・バランスのとれた食事を心がけていただきますようお願いいたします。



6月・7月・8月の主な学校行事

- 【6月】 2日(火) 2・3年生身体測定、視力検査
3年生聴力検査
3日(水) 1年生身体測定、視力聴力検査
8日(月) 2・3年生実力テスト
生徒会専門委員会
9日(火) 1年生部活動見学(6/9、6/12)
10日(水) 小中連絡会
16日(火) 1年生部活動体験(6/16、6/17)
19日(金) 部活動正式入部
23日(火) 1年心電図検査
29日(月) 生徒総会
- 【7月】 3日(金) 3年生内科検診 学校運営協議会
8日(水) 2年生内科検診
10日(金) 1年生内科検診
14日(火) 1年生ものづくり体験
15日(水)～17日(金) 期末テスト
- 【8月】 3日(月)～6日(木) 個人懇談
7日(金) 終業式
8日(土)～23日(日) 夏季休業日
24日(月) 2学期始業式

○体育祭、文化祭、修学旅行、スキー学校などの学校行事のあり方については、生徒・保護者の方、大変心配されていることと思います。

現在の文部科学省通知では、体育祭・文化祭については実施時期の検討、開催時間の短縮や、内容・方法の工夫が指示されており、都道府県をまたぐ集団的宿泊行事については、延期扱いとすることとなっています。修学旅行については9月以降に候補日を業者に押さえてもらっています。これらの行事については6月中旬に丹波篠山市教育委員会から統一した内容が出される予定です。

○部活動については県大会・丹有大会が中止となり、吹奏楽コンクールも中止となっています。代替大会の可否については、新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら中体連で検討中です。